

開講年次・時期	1年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC220	科目名	生活支援技術 I a	担当者名	小笠原 仁美
授業の概要	介護における尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう根拠に基づいた介護実践を行うための知識と技術を習得する。				
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護における生活支援について理解する ・応急手当の知識と技術について理解する ・災害時における生活支援について理解する 				
DPの観点	⑥専門知識・技能 ⑨主体性 ⑩問題解決力				
授業時間外学修(予習・復習)	・介護福祉士資格取得科目であるので、各自試験対策に取り組むこと(30分～1時間程度)				
フィードバックの方法	課題の返却やコミュニケーションカードにてフィードバックする				
単位認定の要件	授業内状況により総合的に評価する				
評価の方法・割合(%)	授業内小テスト40%、期末試験40%、授業内活動20%				
履修上の注意事項	介護福祉士資格取得必須科目 30分以上の遅刻は欠席とする。遅刻3回で欠席は1回とする。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			生活支援について理解する	⑥⑨⑩	コミュニケーションカード
2			ICFの視点をもって利用者の全体像・個性を理解する	⑥⑨⑩	コミュニケーションカード
3			生活支援におけるチームアプローチの重要性について理解する	⑥⑨⑩	コミュニケーションカード
4			応急手当について理解する	⑥⑨⑩	コミュニケーションカード
5			応急手当のポイントを理解する	⑥⑨⑩	コミュニケーションカード
6			被災地における支援者のあるべき姿を理解する	⑥⑨⑩	コミュニケーションカード
7			災害時における介護福祉士の支援内容について理解する	⑥⑨⑩	コミュニケーションカード
8			災害時における多職種連携内容を理解する	⑥⑨⑩	コミュニケーションカード
9			生活を理解する視点と生活の構成要素を理解する	⑥⑨⑩	コミュニケーションカード
10			家庭生活にまつわる法律について理解する	⑥⑨⑩	コミュニケーションカード
11			日本の家庭生活の変化について理解する(核家族・少子化)	⑥⑨⑩	コミュニケーションカード
12			高齢化社会・高齢社会・超高齢社会について理解する	⑥⑨⑩	コミュニケーションカード
13			生活設計の考え方とリスクマネジメントについて理解する	⑥⑨⑩	コミュニケーションカード
14			家庭を取り巻く経済活動について理解する	⑥⑨⑩	コミュニケーションカード
15			高齢者を取り巻く経済生活の特徴を理解する	⑥⑨⑩	コミュニケーションカード
期末試験			試験 まとめと確認		確認試験

使用テキスト	最新・介護福祉士養成講座第6巻「生活支援技術 I」 荘村明彦 中央法規出版
参考文献 参考URL	介護福祉士国家試験問題
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--